瀬田川プランクトン調査結果速報

~第39報~

滋賀県琵琶湖環境科学研究センター 環境監視部門 生物圏係 令和4年12月26日

1.最も数が多かった種類(優占種)

植物プランクトン第1優占種



動物プランクトン第1優占種



Cyclotella glomerata (ヒメマルケイソウ) 珪藻綱

細胞は、横から見ると長方形に見えるが、真上から見ると円形に見える。その直径は $4\sim10~\mu$ mと小さい。多数が鎖状に結合して群体をなす。

Polyarthra vulgaris (ハネウデワムシ) ワムシ類

体は四角く、4カ所に3本ずつ鳥の羽状の付属物を有する。前部に2本の触角がある。 琵琶湖、瀬田川で見られるワムシのなかまの中で 最も多く見られる種類である。

コメント

植物プランクトンは細胞数では、珪藻に属するキクロテラ グロメラータ(Cyclotella glomerata)が細胞数、体積いずれで見ても優占種となった。綱別の体積では、珪藻が約42%、緑藻が約26%、次いで黄色鞭毛藻が約19%であった。動物プランクトンはワムシ類に属するハネウデワムシ(Polyarthra vulgaris)が今週も優占種となった。ピコ植物プランクトンは、2,400細胞/mLとなり、輝橙色のものが約87%、深赤色のものが約13%であった。今週は異臭味原因プランクトンは計数されなかった。しかし、過去には異臭味原因プランクトンが冬季に多数計数されたこともあるため、引き続き注視していく。

2.計数された主なプランクトンとその数(個体数)

(1)動物プランクトン

- 7	24 1/4 2 2 . 2 1 .						
		第	1	優	占	種	(個体/L)
	ワムシ類			Pol	yarthra	vulgaris	100

	第	2	優	占	種		(個体/L)
繊毛虫類		Tintinnidium fluviatile			80		

* 個体数は、プランクトンネットNXXX25(目合い41µm)で1000倍濃縮したものを直接検鏡して計測した。

瀬田川植物プランクトン調査結果速報

~第39報~

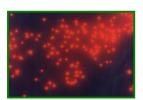
滋賀県琵琶湖環境科学研究センター 環境監視部門 生物圏係

(2)植物プランクトン

令和4年12月26日

	 (綱)種 名	細胞数		
	(柳岬) 作業 1日	(群体数)	数	体積
(黄鞭)	Dinobryon bavaricum	56		0
(珪)	Aulacoseira granulata	16		
(珪)	Aulacoseira granulata var. angustissima	4		
(珪)	Aulacoseira ambigua	2		
(珪)	<i>Aulacoseira</i> sp.	14	_	_
(珪)	Cyclotella glomerata	940	0	0
(珪)	<i>Cyclotella</i> sp.	80		
(珪)	Skeletonema potamos	80		
(珪)	Asterionella formosa	26		
(珪)	Asterionella gracillima	8		
(珪)	Nitzschia acicularis	60		
(渦)	Ceratium hirundinella	1		
(褐)	<i>Cryptomonas</i> sp.	40		
(褐)	<i>Rhodomonas</i> sp.	20		
(緑)	<i>Chlamydomonas</i> sp.	20	_	
(緑)	Tetraspora lacustris	144	0	
(緑)	Paulschlzia pseudovolvox	32		
(緑)	Klebsormidium sp.	6		
(緑)	Ankistrodesmus falcatus var. mirabile	20		
(緑)	Pediastrum duplex	16		
(緑)	Staurastrum dorsidentiferum var. ornatum	1		
(緑)	Cosmocladium constrictum	40	0.0	0.0
(藍)	藍藻綱	0	0.0	0.0
(黄)	黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭)	黄色鞭毛藻綱	56	3.4	19.4
(珪)	珪藻綱	1230	75.6	42.4
(渦)	渦鞭毛藻綱	1	0.1	3.7
(褐)	褐色鞭毛藻綱	60	3.7	8.8
(み)	みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑)	緑藻綱	279	17.2	25.7
(他)	その他のプランクトン	0	0.0	0.0
	総 細 胞 数	1626	総体積	8.10E+05
	種 類 数	22	(μm^3)	0.10L 100

- 注1) 細胞数の単位は(細胞/mL) ただし*印の種は群体数(群体/mL)
- 注2) 優占種は◎が第1優占種、○が第2優占種 数字は各綱ごとの占有率(単位:%)
- 注3) ★:異臭味原因プランクトン 注4) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から 試験的に推定した概算値である。



ピコ植物プランクトン 1,000倍G励起で撮影

(3)見つかったピコ植物プランクトンとその数(細胞数)

	ピコ植物プランクトン数	細胞数/mL		
藍藻類	Synechococcus sp.	2,400		

注1) プランクトンを大きさ別に分類したとき、大きさが0.2~2µm(1µmlは1mmの1,000分の1)の最も小 さなランクのものをピコプランクトンと呼んでいます。この中で光合成色素を持つものをピコ植物プラン クトンと呼んでいます。ピコ植物プランクトンは細菌と同じくらい小さいので、落射蛍光顕微鏡を用いて 観察し計数します。G励起(緑色光照射)で輝橙色に輝く種類と深赤色に見える種類があります。